

| | | | | |
|------------------------|---|---------|---|----------|
| 1. 科目名 (単位数) | 韓国の文化と言語Ⅱ (2単位) | | 3. 科目番号 | GECM1316 |
| 2. 授業担当教員 | 橋本 琢 | | | |
| 4. 授業形態 | 講義 | 5. 開講学期 | 秋期 | |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 春期のテキストを継続して使用するため、「韓国の文化と言語Ⅰ」を受講していることが望ましい。 | | | |
| 7. 講義概要 | 韓国の文化と言語Ⅰでは言語を中心に講義を行なったが、Ⅱでは言語と文化両方を学習する。言語については基本的な挨拶から日常会話をはじめ、漢数詞、固有数詞などを応用し、会話を深める。文化については一般的な理論講義と共にビデオや現地見学(コリアタウン、高麗神社)などを併行して講義を行ない、より深い韓国文化の理解を高めることも目的とする。したがって、本授業は基本的なハングル文字を理解し、韓国の文化に興味を持っている学生が授業の対象として望ましい。 | | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ハングルの文字と単語を覚える 2. 基本的な日常会話ができるように学習する 3. 現代の韓国社会の政治・経済・社会・文化などについて理解する。 4. 韓国の伝統文化・名節について理解する。 5. 韓国の歴史や世界遺産などについて理解する。 6. 韓国の文化を直接的に体験し、より深い文化を理解する。 | | | |
| 9. アサインメント(宿題)及びレポート課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人レポート: 授業で紹介された韓国の文化の一つを選び、日本との相違点や類似点について日本語でまとめる 2. 学習してきた韓国語の基礎的な文法事項を使い、日本文化に関する簡単な説明文を、日本語と韓国語で作成する 3. 「韓国の文化と言語Ⅰ」で作成した韓国語の自己紹介に加え、状況設定に応じた韓国語での会話のロールプレイを作成し発表する | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】 李志暎『新装版 できる韓国語 初級Ⅰ』アスク出版、2010。 【参考書】 小倉紀蔵『韓国は一個の哲学である <理>と<気>の社会システム』講談社学術文庫、2011。 金慶珠『歪みの国・韓国』祥伝社新書、2013。 金成玟『K-POP 新感覚のメディア』岩波新書、2018。 | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介と簡単な会話ができるのか 2. 韓国の文化について理解し、日本と比べ類似点や相違点について理解されているのか ○評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1. ミニテスト及び授業への参加度(発表など): 40% 2. 課題レポート及び予習ノート: 20% 3. 総括テスト: 40% | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的達成のため、下記の事を守ることが期待されている。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業中は常に緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。発音などの練習のときは大きな声を出す。 2) 韓国語の学習と並行して韓国文化についての紹介、解説を各講義時に適宜してゆく。 3) 授業中に理解できなかったことをそのまま放っておかず、質問をする。 4) 授業中は私語、居眠りまた途中入出をしない(正当な理由以外は減点の対象になる)。 5) 宿題及びレポートの提出期間を厳守する。 6) 韓国文化に関するグループ討議や会話のロールプレイには、メンバー全員が積極的に参加し、また他人の発表はきちんと傾聴する。 7) 「総括テスト」として学習内容の定着度を判断する試験を実施する。 | | | |
| 13. オフィスアワー | 授業中に通知する。 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | |
| 第1回 | シラバスの説明及び、第三課、それはなんですか。① | 事前学習 | 第三課(pp. 50~52)の例文を音読しておく | |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する | |
| 第2回 | 第三課、それはなんですか。② | 事前学習 | 第三課(pp. 50~55)の例文を音読し、「応用練習」と「書いてみましょう」に解答を記入しておく | |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「書いてみましょう」を復習する | |
| 第3回 | 第四課、約束があります。① | 事前学習 | 第四課(pp. 56~58)の例文を音読しておく | |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「基本句型練習」を復習する | |
| 第4回 | 第四課、約束があります。② | 事前学習 | 第四課(pp. 56~61)の例文を音読し、「応用練習」と「話してみましょう」に解答を記入しておく | |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみましょう」を復習する | |

| | | | |
|------|-------------------|------|--|
| 第5回 | 第五課、会社はどこにありますか。① | 事前学習 | 第五課 (pp. 62～64) の例文を音読しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「基本文型練習」を復習する |
| 第6回 | 第五課、会社はどこにありますか。② | 事前学習 | 第五課 (pp. 62～66) の例文を音読し、「応用練習」と「聴いてみましょう」に解答を記入しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「聴いてみましょう」を復習する |
| 第7回 | 第1課から第5課までの復習 | 事前学習 | pp. 67 の Review を音読し、解答を記入しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、単語を覚える |
| 第8回 | 第六課、週末は何をしますか。① | 事前学習 | 第六課 (p. 68～70) の例文を音読しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「基本文型練習」を復習する |
| 第9回 | 第六課、週末は何をしますか。② | 事前学習 | 第六課 (pp. 68～73) の例文を音読し、「応用練習」「話してみよう」「書いてみましょう」に解答を記入しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「応用練習」「話してみよう」「書いてみましょう」を復習する |
| 第10回 | 第七課、そんなに遠くありません。① | 事前学習 | 第七課 (pp. 74～76) の例文を音読しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「基本文型練習」を復習する |
| 第11回 | 第七課、そんなに遠くありません。② | 事前学習 | 第七課 (pp. 74～79) の例文を音読し、「応用練習」と「話してみよう」に解答を記入しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみよう」を復習する |
| 第12回 | 第八課、いつきますか。① | 事前学習 | 第八課 (pp. 80～83) の例文を音読しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「基本文型練習」を復習する |
| 第13回 | 第八課、いつきますか。② | 事前学習 | 第八課 (pp. 80～85) の例文を音読し、「応用練習」と「話してみよう」に解答を記入しておく |
| | | 事後学習 | 授業で学習した例文を音読し、「応用練習」と「話してみよう」を復習する |
| 第14回 | 韓国語による日本文化の紹介 | 事前学習 | 自分が韓国人に紹介したい日本文化をひとつ決め、その紹介文を 1000 字程度の日本語で作成しておく |
| | | 事後学習 | 韓国語で作成した日本文化の紹介文を覚える |
| 第15回 | 全体のまとめ | 事前学習 | 今後、韓国とどのような関わり合いを持ちたいか考えておく |
| | | 事後学習 | 他の履修者の意見も参考にして、今後の韓国との関わり合いについて考えを深める |